

済生会山口総合病院 外来医師担当表

平成27年5月25日現在

●各科外来の受付時間は 午前8時30分～11時
 診療開始時間は 午前9時～(曜日等により異なる場合あり)
 急患の場合はこの限りではありません。
 ●都合により代診・休診とさせていただきます場合があります
 のでご了承ください。

診療科名		月	火	水	木	金
内科 083-901-6102	循環器	小野史朗 (循環器内科)	小野史朗 (循環器内科)	小野史朗 (循環器内科)	國近英樹 (循環器内科)	國近英樹 (循環器内科)
		塩見浩太郎 (循環器内科)	國近英樹 (循環器内科)	塩見浩太郎 (循環器内科)		
		加藤孝佳 (循環器内科)	赤川英三 (循環器内科)	赤川英三 (循環器内科)	加藤孝佳 (循環器内科)	加藤孝佳 (循環器内科)
	腎臓	今井剛 (腎臓内科)	今井剛 (腎臓内科)	今井剛 (腎臓内科)	今井剛 (腎臓内科)	今井剛 (腎臓内科)
	糖尿病・血液	藤田直紀 (糖尿病・血液内科)	村木和彦 (糖尿病・血液内科)	村木和彦 (糖尿病・血液内科)	村木和彦 (糖尿病・血液内科)	藤田直紀 (糖尿病・血液内科)
	消化器	原田稔也 (消化器内科)	佐々木敏行 (消化器内科・胆膵)	花田浩 (肝臓内科)	佐々木敏行 (消化器内科・胆膵)	白石龍 (消化器内科)
呼吸器		*非常勤医師 (午後2時～)	*非常勤医師 (午後2時～)	*非常勤医師 (午前9時～午後0時)	*非常勤医師 (午後2時～)	*非常勤医師 (午後2時～)
【専門外来】○神経内科 毎週水曜日 *古賀 道明医師の診察となります。						
外科 083-901-6107	1診	小林俊郎 (心臓血管外科)	高橋剛 (消化器・乳腺外科)	郷良秀典 (心臓血管・呼吸器外科)	神保充孝 (呼吸器外科)	高橋剛 (消化器・乳腺外科)
	2診	齋藤聰 (血管外科)		井上貴之 (心臓血管・消化器外科)		
	【専門外来】○乳腺外来 午後0時～午後1時 毎週火曜日 上杉尚正 医師の診察となります。 午後2時～午後3時 毎週金曜日 高橋剛 医師の診察となります。 ○下肢静脈瘤外来 午前8時30分～午前11時 毎週水曜日 齋藤聰 医師の診察となります。					
泌尿器科 083-901-6120	1診	城甲啓治	大場一生	城甲啓治	大場一生	*非常勤医師
耳鼻咽喉科 083-901-6124	1診	竹野研二	*非常勤医師	竹野研二	竹野研二	竹野研二
○竹野医師 午前9時～ 診療開始 ○火曜日 午前10時～診療開始 非常勤医師による診察となります。						
脳神経外科 083-901-6109	1診	湧田幸雄	北原哲博	*完全予約制 湧田幸雄	宮岡亮	北原哲博
○北原医師・宮岡医師 【受付時間】午前8時30分～10時						
整形外科 083-901-6108	初診	大中博司 (脊椎・外傷)	三原修三 (肩関節・外傷)	井上裕文 (脊椎・外傷)	*完全紹介予約制 岸本哲朗 (脊椎・人工関節)	大野晃靖 (手足の外科・末梢神経・外傷)
	再診	岸本哲朗	大野晃靖	大中博司 (脊椎・外傷)	井上裕文	三原修三
○大中医師 水曜日は午前のみ						
産婦人科 083-901-6122	1診	古谷信三	*非常勤医師	古谷信三	古谷信三	古谷信三
○木曜日は手術日のため午前からの診察となります。						
眼科 083-901-6123	1診	休診	*非常勤医師	休診	*非常勤医師	休診
※初診は完全紹介制						
皮膚科 083-901-6110	1診	休診	休診	*非常勤医師	休診	休診
○毎週水曜日 午前9時～午前11時 非常勤医師の診察となります。						
小児科 083-901-6106	1診	*非常勤医師	休診	休診	休診	*非常勤医師
【乳児検診・予防接種】月曜日・水曜日・金曜日 午前10時～午前11時						

医療機関の先生方へ *印は非常勤医師

放射線科	放射線科の診療は完全予約制となっております。CT・MR・RIIは直接ご予約できます。CT予約 083-901-6149 予約受付 MR予約 083-901-6151 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時 RI予約 083-901-6154 午前8時30分～午後6時 (※心筋シンチ・冠動脈CTについては内科・循環器科にご紹介ください。)
放射線科	放射線科検査についてのご相談は 放射線科 中村 洋 医師まで 083-901-6551

栄養科	糖尿病・高脂血症・減塩等の栄養指導、個人指導・糖尿病教室はお電話にてご予約をお受けいたします。予約受付(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時) TEL 083-901-6177
-----	--

地域連携室	患者さんのご紹介予約は、FAXにてお受けしております。詳しくは地域連携室へお問い合わせいただくか、病院ホームページをご覧ください。予約受付(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時) TEL 083-901-6187 FAX 083-928-3357 E-mail: renkei@yamaguchi.saiseikai.or.jp 担当 河嶋 裕子
《用語の解説》	★完全予約制 …事前に予約をお取り頂くことが必要な外来 ★完全紹介制 …医療機関からの紹介(紹介状の持参)が必要外来 ★完全紹介予約制 …医療機関から事前に地域連携室へご連絡の上、紹介の予約をお取り頂くことが必要な外来

「Life～ライフ～」・その他病院に関するご意見・ご要望等は、病院内に設置しております「ご意見箱」にご投函いただくか、病院宛にご郵送ください。

Life No.81 済生会山口総合病院広報誌 平成27年6月10日発行

済生会山口総合病院 TEL 083-901-6111(代表) FAX 083-921-0714 〒753-8517 山口市緑町2-1-1

どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

Life

ライフ

No.81

地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院

山口県済生会山口総合病院

発行：地域連携委員会 広報チーム
発行責任者：院長 城甲啓治
〒753-8517 山口市緑町2-11 TEL:083-901-6111(代表)

2015年6月号

当院では植込み型除細動器の植込み術を行っています

心臓突然死を予防するための治療

循環器内科
部長 赤川 英三

わが国では年間約数万人の方が心臓突然死していると言われており、その原因の多くは予測不能な心室頻拍、心室細動などの頻脈性不整脈によるものと考えられています。心室細動がいったん起こると自然に回復することはほとんどありません。また心室頻拍の場合は失神や心不全の原因になったり、心室細動に移行したりする場合があります、これも突然死を引き起こします。これらの不整脈には電気ショックなどを与える必要がありますが、電気ショックの装置はどこにでもあるものではないので、これらの不整脈を起こす危険性の高い人には植込み型除細動器の植込みを考慮することになります。植込み型除細動器は英語で「Implantable Cardioverter Defibrillator」といい、ICDと略されます。ICDは、本体機械と電気刺激を直接心臓に伝えるためのリードと呼ばれる電線から構成され、ペースメーカーとよく似たものですが、使

ペースリング

電気ショック

「ペースリング」は、不整脈より少し速く心臓を人工的に刺激する方法ですが、速い心室頻拍や心室細動は「ペースリング」では止まらないことがあり、その場合は「電気ショック」が必要になります。また、ICDには通常のペースメーカーとしての機能も備わっており、徐脈の時にも作動します。この治療法は日本では1996年から保険で認可されるようになっており、当院も厚生労働省が認可した施設になっています。

▲ 植込み型除細動器 (本体部分)

▲ 本体とリードの構成図

理念：私たちは地域社会に信頼され、質の高い医療を提供します。

基本方針	一、急性期病院として地域医療機関との連携を積極的に推進します。 一、良質の医療サービスを提供します。 一、目標達成のため自己研鑽につとめます。	患者さんの権利
		1. 平等で適切な医療を受けること 2. 尊厳が守られること 3. 医療に関する説明や情報の提供を受けること 4. プライバシーが守られること 5. 自らの意思で医療を選択すること

最新機器導入のお知らせ

80列CT

～ CTが4列から80列へ～

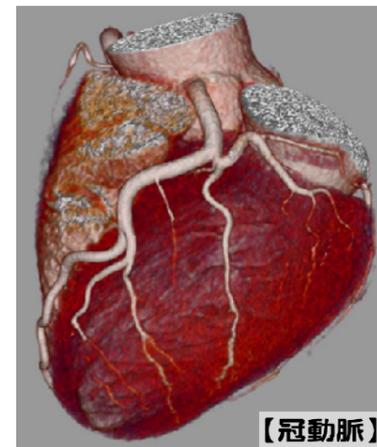


2015年3月より第1CT室に、これまでの4列から80列のAquilion PRIME（アクイリオンプライム：東芝製）が導入されました。この「列」という単位は、X線検出器の数を表し、検出器を増やすことで、一度に撮影できる幅が広がり、撮影を高速化することができます。

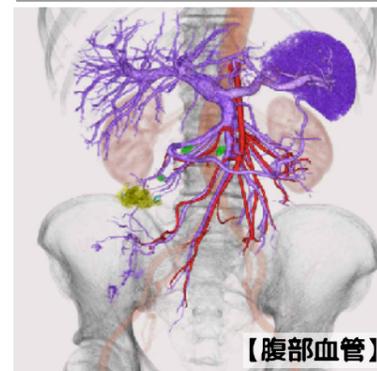
第2CT室には、64列のAquilion（アクイリオン：東芝製）が2009年より稼働しており、同時に2台で造影CT検査が可能になりました。

また、3D画像作成に活躍しているワークステーションもSYNAPSE VINCENT（シナプスビンセント：富士フィルム製）が導入されました。

ワークステーションとはCT、MR画像等から臓器や血管を抽出したり、合成を行って3D画像を作成できる機器のことです。下図の画像が作成した例です。

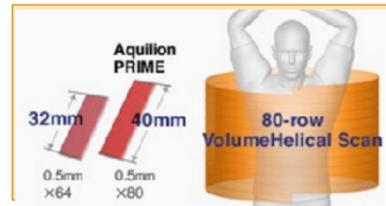


【冠動脈】



【腹部血管】

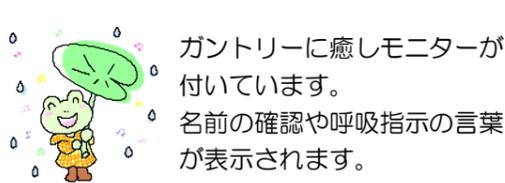
新しいCTの特徴



0.5mm×80列(160スライス)検出器と0.35秒回転のヘリカル(螺旋)スキャンにより、広範囲を高速かつ高分解で撮影できます。



ガントリー（大きな輪の部分）の開口径が、780mmとワイドで圧迫感が少なくなりました。また寝台は左右に42mmずつスライドが可能です。



ガントリーに癒しモニターが付いています。名前の確認や呼吸指示の言葉が表示されます。



健康講座

テーマ：肺がんで死なないために
～ 予防と早期診断～

地域の皆さまに、より健康な生活を送っていただけるように毎月1回健康講座を開催しております。参加無料です。お気軽にご参加ください。

日時：平成27年6月30日(火) 午後3時～午後4時

場所：済生会山口総合病院 4階大会議室

講師：放射線科部長 田中伸幸



知って得する
知っ得情報!!

転倒予防について

高齢者の3人に1人は転倒の経験があり、転倒した人の5～10%に骨折が発生しています。

転倒の原因はたくさんありますが、『つまずく』ことで転倒してしまったという話をよく聞きます。転倒予防にはたくさん方法がありますが、心掛けひとつで出来る転倒予防を紹介します。



歩くときは…

- ①つま先を上げ、踵から接地する。
歩くときに、つま先が上がっていないと、つまずき易くなります。
- ②少し遠くを見て背筋を伸ばす。
足元ばかり見ていると背筋が曲がり、前方に重心がかかるためバランスも悪く、つまずき易くなります。



環境面では…

- ①屋内の動線を確保する。
 - ②通路などに電気のコードや物を置かない。
 - ③照明を明るくする。
- など、簡単にできることもありますので心掛けてみてください。

職場紹介
コーナー

臨床工学部

臨床工学部は、院内のコメディカル（医療技術部門）の中では一番新しい部門として平成3年に発足しました。発足当時は、「生命維持管理装置の操作及び保守点検」が主たる業務であったため、透析業務や人工心肺業務、人工呼吸器業務を主に活動してきましたが、今では輸液ポンプ、シリンジポンプ、ネブライザーなどの医療機器が安全に使用するために管理する中央管理業務やCHDF（持続血液透析濾過法）、ラジオ波焼灼などの特殊治療の分野で使用する装置の操作など活躍する場が大きく広がってきました。中でも中央管理業務は、県内ではいち早く医療機器の集中管理体制に取り組み、現在では約40種類500台以上の医療機器を管理しており、より安全に使用できる管理体制作りを注いでいます。これからも院内の安全な医療と質の向上を目指し、チーム医療の一部門として頼りにされる存在であり続けるため、日々邁進していきたいと思っております。

